

せんげんじおおたにじょう
No.17 泉源寺大谷 城

舞鶴市字泉源寺小字堂之奥他

- ・遺構---堀切 ・占地---山頂
- ・標高---280m ・比高---275m
- ・遺跡地図番号---347

この城は自衛隊病院の裏にそびえる愛宕山の頂上にある。城館遺構は旧日本軍により破壊され縄張図はとれなかったが、西側の尾根に堀切が一本残っている。大波下と泉源寺を結ぶ古道が愛宕山の西中腹を通っている。

城主については「嶽家文書」や近世の地誌類では矢野右京または矢野藤市とし、織田信長の頃としている。

やまじょう
No.18 トアミ山城

舞鶴市字泉源寺小字村中

- ・遺構---消滅・占地---山頂 ・標高---10m
- ・比高---5m
- ・遺跡地図番号---361

この城は国道27号から智性院へ向かう参道の左手の小丘にある。かつて志楽川河口付近では海が今より深く入り込み、愛宕浜町が入り江になっており、このトアミ山に漁業用の網を乾かしたためにこの名前がついたという。現在、遺構は鉄道のためにかなり削り取られ縄張図はとれなかったが、削平された痕跡があり城館があったことを物語っている。城主に関する伝承や記録はないが、付近に中世志楽庄の有力庄民であった梅垣西浦家の跡地がある。

